

シングルファーザー、医療現場で働いた経験…

すべてをかけて、市政に挑戦 !!



党町田くらしの相談室長（市議予定候補）

大野まこと



私が大学卒業後、初めて働いたのは命を守る仕事に献身的に取り組んでいた病院でした。また家ではシングルファーザーとして必死で子どもを育て、子どもが中学の時にはPTA会長も務めました。こうした体験から、医療や介護、子育てや教育に、もっと光をあてる政治が必要だと強く思い、のために市政に挑戦します。日本共産党市議団を4人から5人に増やし、市民のみなさんの切実な声を市政に届けるために、全力をあげます。

新しい町田

2022年1・2月号外 日本共産党町田地区委員会の見解を紹介します。
発行●新しい町田社 〒194-0022 町田市森野3-7-46

日本共産党

地域にうすまく願い —市政に届けます



- ◆ 小山・小山ヶ丘に図書館を
- ◆ 小山田桜台から多摩センターまでバス延伸
- ◆ 八王子医療センターへ相原から直行バス運行
- ◆ シルバーパス、都県境を越えても使えるように
- ◆ 高齢者が安心して暮らせる地域づくり
- ◆ 境川ゆっくりロードに公共トイレ設置を
- ◆ 町田の緑と自然を守ります

日本共産党 大野まこと

私たちも
期待
します

誠実な人柄の大野さん シルバーパスの改善を

——常盤町 小山健介さん

一昨年、「シルバーパスを都県境でも利用できるように！」と、都議会に向けての請願署名運動をおこないました。大野さんは必ず街頭署名に参加、都庁にも行き会派まわりもしてくれました。結果は共産党以外反対で不採択でしたが、引き続きがんばります。

日本共産党の 大野さんに期待します

——西成瀬 林万里さん

医師として、ずっと障がいのある子どもたちを見てきました。弱者にやさしい日本共産党！ 大野まことさんに期待します。

町田市も、 補聴器購入に補助を

——団師町 森ふみさん

年をとると、耳の聴こえが悪くなります。補聴器は高額で、年金生活には大きな負担です。都内では補聴器補助をおこなっている自治体も増えてきました。町田市でも実現してほしいです。大野さん！

市政でも奮闘してください。

町田の西部地域相原。 交通不便解消を！

——相原町 杉崎愛史さん

相原駅前にタクシーが常駐しなくなり、大変不便です。八王子医療センターや買物のためのバスを実現するために、ぜひ大野さんに市政でがんばってもらいたいです。

小山田桜台 佐藤 洋子
(元市議会議員)

相原町 渡場 悟視
(元市議会議員)

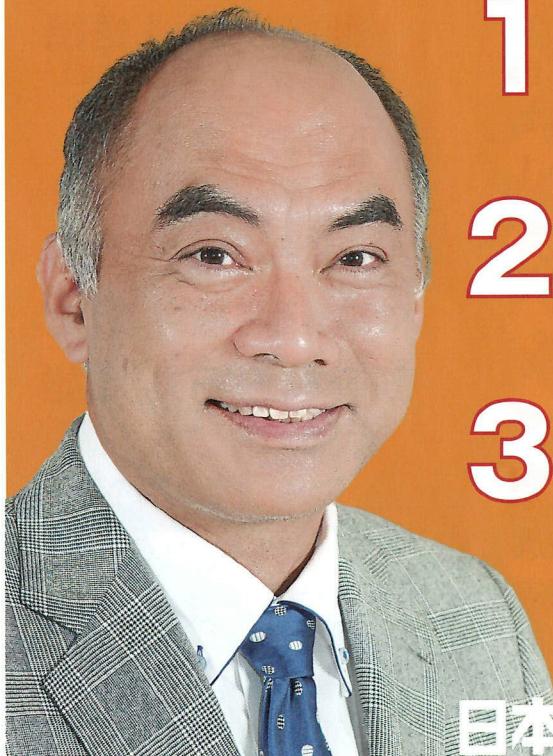
小山町 金子 剛
(元下馬場町会長)

成瀬台 稲村 七郎

木曾森野都営 榆井 宏史
境川団地(元) 石丸 和雄



町田の子どもたちのために3つの約束



- 1 より良い給食と
給食費の無償化を**
- 2 18歳まで
医療費無料化**
- 3 無謀な学校統廃合
計画はストップ!!
少人数学級を**

日本共産党

大野まこと



自らもシングルファーザーの大野さん。子育てに必死にとりくみました。さらにPTAの活動にも参加、会長も務めた経験もあります。「みんなの子を自分の子と同じように大切に感じた」一大野さんは子どもたちが輝く町田をつくると全力をあげています。

大切な忠生小学校。廃校にしないで ——図師町 橋口みどりさん

通学途中の子どもたちへの自動車事故の惨劇が相次いでいます。遠くの学校へ、小学生を通わせるのは心配で仕方がありません。何本も大きな道路を横断するのです。それに、学校は避難所です。子育ての苦労、学校の大切さを、身にしみてよく知っている大野さんに期待します。

中学校給食、さらに充実を!

——小山田桜台 小林亘さん

共働きで二人の子どもを育ててきました。温かい町田の小学校給食はすばらしかった。中学生になると給食がなくて毎日の弁当作りは大変でした。市民と日本共産党市議団の奮闘で、2024年度から中学校給食が実現します。大野さんに、さらに給食費無償化など実現してほしいです。

PTA会長や青少年健全育成委員 子ども110番の家 増やして回った日々 ——大野まことの思い

大野さんがPTA会長のとき、地域の青少年健全育成委員も務めました。子どもが不審者から逃げて駆け込むことができる民家をつくり、ステッカーを表示するとりくみ（子ども110番）もおこないました。

地域の人たちは政治的立場や考え方が違っていても、子どもたちを大事に思う気持ちは一緒。様々な人たちと力をあわせる大切さを学びました。



オミクロン株
感染急拡大

医療現場の経験活かし 町田市民のいのち・暮らし守る

日本共産党 大野まことが緊急提案



コロナ禍で商店主から相談を受ける大野さん

- ①ワクチン3回目の接種を迅速に。
- ②町田で無料のPCR検査を受けられる場所を増やす。
- ③入院と療養の施設を緊急に増やす。
- ④保健所の体制強化をすすめる。
- ⑤困っている人、事業者へ支援強化を。

提案にあたり、大野まことさんは、「私も病院で働いた経験があり、市民や医療従事者の方々の不安や心配は痛いほどわかります。ぜひ実現させたい」と語りました。

患者さんの顔、 そしてカルテの重み ——大野まことの思い

「人の役に立つ仕事がしたい」と思った大野さん。大学卒業後、立川相互病院に就職しました。大野さんの仕事は病院事務。患者さんと真っ先に接する現場です。今でも忘れられないのは、不安そうな患者さんの顔、そしてカルテの重さです。長く通院されている人ほど、カルテが厚く重くなっているのです。「どれだけの苦労があったのだろう…」カルテのずっしりとした重みに、患者さんやご家族の苦労を実感する日々でした。



いまこそ市政に 必要な大野さん

都議会議員
池川友一

命を守り、くらしをよくしていくことは、自治体にとってもっとも大事な仕事です。コロナ禍のもと、医療現場を知る大野さんが市政にいくことは、市民の命を守ることに直結します。大野さんとともに、市政と都政の連携で、くらしに役立つ政治に変えていきます。



コロナ禍の今、命と健康守る ため大野くんの力が必要

東京民医連 事務局次長
久保田高穂さん



大野くんとは立川相互病院に同期入職です。彼は医療事務や医局秘書として専門性を深めてきました。コロナ禍の今、町田市において命と健康を守るためにも大野くんの力がどうしても必要です。



大野まことの原点

憲法9条守りぬく

プロフィール●1965年江東区生まれ、小田原育ち●1987年國學院大學法学部卒●立川相互病院に勤務●その後、日本民主青年同盟、日本共産党に勤務、立川昭島地区委員長など歴任●現在、日本共産党町田地区副委員長・町田くらしの相談室長●趣味は映画・演劇・音楽鑑賞●家族は息子（学生）



活動地域●相原町、小山町、小山ヶ丘、小山田桜台、上小山田町、下小山田町、常盤町、矢部町、根岸町、根岸、図師町（ブロードヒルズを除く）、忠生、木曽西1～5丁目、木曽東1～3丁目、森野4丁目、成瀬台、成瀬1～5丁目、西成瀬、境川団地、都當中里橋アパート、木曾森野都當

日本共産党

ご意見・ご要望は、電話 042-723-6312
メール machida.jcp@seagreen.ocn.ne.jp



青年時代

高校時代から、歴史や政治に関心をもち、様々な本を読みました。ふと手にした本で、日本が行なった侵略戦争に、日本共産党が命がけで反対していたことを知つたのです。強い驚きと感動を覚え、「戦争反対」の思いで共産党の事務所を訪問し入党。大学1年生の時でした。

小田原で育った大野さん。漫画が好きな少年でした。転機は小6の時、父が病気で家業を廃業。子ども心中に「これからは自分が母を支えなければ」と思いました。中学時代は野球部で活動。体格は頑丈に、足も速くなりましたが、野球は全然うまくなりませんでした。

「あの戦争に反対した党があつた」日本共産党入党



妹さん(右)と

「母を支えなければ」の思い